

第14号様式

3 鉄骨鉄筋コンクリート造用

工 事 施 工 計 画 報 告 書

(あて先) 建築主事		年 月 日
報告者(工事監理者)の住所	報告者(工事監理者)の資格及び氏名(記名押印又は署名) ()級建築士()登録第 号 電話 - -	
報告者(工事施工者)の住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)	報告者(工事施工者)の氏名(法人にあつては、名称及び代表者名。記名押印又は署名) 電話 - -	

京都市建築基準法施行細則第25条の規定により工事の施工計画を報告します。								
建築工事の名称				建築主の氏名				
確認の申請の受付年月日及び受付番号		年 月 日 第 号		確認済証交付年月日及び確認済証番号		年 月 日 第 号		
溶接工事の施工者	住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)			氏名(法人にあつては、名称及び代表者名)				
	鉄骨加工工場の名称			電話 - -				
溶接管理責任者の所属、資格及び氏名								
溶接検査責任者の資格及び氏名								
鋼材	最大使用板厚				製造会社名			
					高力ボルトの種類及び品名			
エンドタブの種類と使用部位		スチールタブ		フラックスタブ		ゲージタブ		
溶接工事の内訳	工場溶接	突合せ	使用部位	鋼種	溶接棒等	作業姿勢	溶接工の資格人数	検査方法
		隅肉						
	現場溶接	突合せ						
		隅肉						

準拠基準	検査			検査機関の所在地, 名称及び代表者名		電話		-				
	工作											
鉄骨建方工事予定年月日				年		月		日				
使用材料	セメント	品名		種別		製造工場						
	細骨材	産地		種別		塩分量						
	粗骨材	産地		種別		最大寸法						
	混和材料											
	レディミクスト コンクリート	製造会社及び製造工場 (JIS認定 有 無)										
	棒 鋼	種類		継手方法		製造会社		ガス圧接等の検査方法				
設計か ぶり厚さ	部位	土に接しない部分			土に接する部分	部位	土に接しない部分			土に接する部分		
	柱	屋外	屋内			はり	屋外	屋内				
	屋根版	屋外	屋内			耐力壁	屋外	屋内				
	床版	下端	上端			非耐力壁	屋外	屋内				
調査計画	番号	打込み 部位	打込み 予定時期	コンクリートの 種類	設計基準 強度	呼び強度	スランプ	空気量	水セメント 比	単位水量	細骨材率	
	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
打込み計画	調 合 計 画 番 号											
	打 込 み 箇 所											
	打 込 み 予 定 年 月 日											
	打 込 み 容 積											
	打 込 み 方 法											
	予 定 試 験 回 数											
容 積 計					普通		軽量		合計			
施工養生計画	ポンプ車	形式	口径	台数	打込み速度		水平配管長さ		垂直配管長さ			
	締 固 め	棒突き 人				パイプレーター 台						
	養生方法	夏期(~)					冬期(~)					
	支保工の除去	早期に除去する計画 有 無 (階はり下 日 階床版下 日)										
コンクリートの劣化対策	塩化物の予測	1立方メートルにつき0.3キログラム以下 1立方メートルにつき0.3キログラムを超え0.6キログラム以下 1立方メートルにつき0.6キログラムを超える。										
	塩害対策											
	塩害の原因	有() 無										
	アルカリ骨材 反応対策	無害骨材の使用					低アルカリ形セメントの使用 混合セメントの使用					

注 該当する には,レ印を記入してください。

鉄骨鉄筋コンクリート造用 工事施工計画報告書の裏面

注

意

- 1 確認を受けた鉄骨鉄筋コンクリート造の建築物で、次のいずれかに該当するものについては、主要構造部の工事に着手する前に、この報告書に必要事項を記入し建築主事に提出してください。また、主要構造部の工事が完了した後、速やかに別に定める工事施工結果報告書に必要事項を記入し、工事写真及び試験成績書を添えて建築主事に提出してください。
なお、対象となる建築物が2棟以上ある場合は棟毎に報告書を作成し、提出してください。
 - (1) 地階を除く階数が3以上のもの
 - (2) 延べ面積が500平方メートルを超えるもの
 - (3) その他建築主事が特に必要と認めて指定するもの

- 2 XY方向、高さ方向あるいは平面的に構造が異なる併用構造や鉄筋コンクリート造で大屋根が鉄骨造のものなどは、鉄骨鉄筋コンクリート造用の報告書で報告してください。